

| | | |
|--|--|--|
| 教材教具名 生単視覚支援小物3点 | 教科(生活単元学習) | |
| 教材教具写真 |  | |
| 教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等 | | |
| <p>1 ねらい 生単の学習に置いて視覚的なサポートにより見通しを持って活動できる。</p> <p>2 発達段階 対象 自閉症児 数字や上下で順番が意識できる。</p> <p>3 使い方</p> <p>校外学習に行くときの通過する場所を写真を順番に探していくことで、目的地まであとのくらいなのか気持ちを持ち続けて行動できるための視覚支援として使う。</p> <p>バスに乗る活動で、バス停に行くところから、車内ですること等を視覚支援として使う。</p> <p>調理に置いて活動の手順をカードをめくりながらすることを確認して活動する。</p> | | |
| 児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために) | | |
| <p>いろいろな校外学習でこの方法を使ってきたことで、校外学習を当日の朝から安心して参加できるとともに、途中で、違うことに気持ちがそれることを防ぐことができる。</p> <p>前事例の が一枚物で首からかけるにしても大きめだったので、バスという車内であることも考慮しめくり式にした。 車内で何度もページをめくって確認する児童様子があった。</p> <p>調理実習では手は、活動に使うのでカードを立て型にした。活動ごとにめくって使うので、児童によってはほとんどの場面を一人でできる調理もあった。ただ、段ボールは濡れると柔らかくなるので、台部分はプラスチックか木で作るといいかもしれない。</p> | | |